

# 吹田市立図書館ホームページ開発及び運用保守業務委託仕様書

## I 業務の概要

### (1) 業務名

吹田市立図書館ホームページ開発及び運用保守業務（以下「本業務」という。）

### (2) 履行場所

吹田市立図書館（以下「図書館」という。）及び吹田市（以下「本市」という。）が指定する場所

図書館内において作業を行う場合は、場所の使用に係る一切の事項について本市の指示に従うとともに、業務従事者の品位の保持に努めること。

### (3) 契約期間

契約締結日から令和 12 年（2030 年）12 月 31 日まで

### (4) 業務内容

#### ア 本業務の目的

図書館では、平成 13 年度（2001 年度）からインターネットでの蔵書検索サービスを開始し、また平成 16 年度（2004 年度）にインターネット上での予約サービスも開始した。本市の市立図書館数の増加やサービスの多様化に伴い、年々、利用者に向けたホームページでの情報発信の重要性が増している。ホームページは図書館のサービス案内等だけではなく、アーカイブ機能も有していることから、今日まで蓄積された掲載情報やコンテンツの整理が課題となっている。本業務においては、本市職員による日々の更新作業の軽減化を図り、効率的かつ継続的にサイト運営が維持できるとともに、利用者にとって利便性の高い、図書館の魅力発信につながるホームページを目指し、リニューアルを行う。

#### イ 基本方針

本業務は、CMS の導入構築、デザイン及びテンプレートの作成、マニュアル等の作成、操作研修の実施、ホームページの保守・運用等の、リニューアルに伴う総合的な業務を行うものである。

##### (ア) マルチデバイスへの対応

パソコン、スマートフォン及びタブレット等に対応するレスポンシブデザインとすること。また、モバイルファーストでページを作成できること。

##### (イ) 情報のわかりやすさ

ページの掲載情報の見え方及び理解しやすさの改善を目的に、現行サイトの問題点及び改善点を分析し、さらにわかりやすい情報提供が可能なテンプレートの開発や新たなコンテンツの作成を行うこと。

##### (ウ) 情報の探しやすさ

カテゴリ分類、ジャンル及びメニュー等で構成するナビゲーションやデザインだけに頼らず、必要な情報にたどり着くための検索機能があること。

(エ) ユーザビリティやアクセシビリティに配慮したコンテンツ作成支援

高齢者や障がいを持った人が支障なく利用でき、必要な情報を得ることができるよう JIS X 8341-3:2016（適合レベル AA）に準拠したシステムを構築し、吹田市ウェブアクセシビリティ方針にも配慮していること。また、本市職員が作成・更新するページのアクセシビリティ確保を支援し、JIS 規格が改正された場合も適切な対応及び支援を継続すること。

(オ) 作業効率の向上

ページ作成についての専門的な知識を持たない本市職員でも編集が可能な CMS の構築及び整備を行うこと。

各ページや図書館のお知らせ情報は公開予定時刻が登録でき、予定時刻まで外部に情報が公開されないようにできること。

(カ) 拡張性と柔軟性に対応した保守運用形態

運用開始後にバージョンアップ等による機能向上及びサイトの構成変更等を柔軟に行えらるとともに、将来的なシステムの拡張性を考慮すること。またセキュリティ対策等の定期的な保守を実施し、機能向上のための対応を行うこと。

(キ) バックアップ

フルバックアップ 1 か月に 1 回

更新のバックアップ 更新時、更新前のページをバックアップ

(ク) 図書館蔵書検索・予約システムへのリンクの配置

リンク先の URL は本市の指示に従うこと。現行ホームページのリンク先は【別紙 1】のとおり。

(ケ) 開館日カレンダー

開館日カレンダーは、ホームページ上で目的の図書館のカレンダーを選択して表示できるようにすること。カレンダーデータは図書館システムから API で返却されたデータを使用すること。API の利用方法については本市の指示に従うこと。

(5) 業務の範囲

ア 本市の要求仕様を満たす CMS の構築及びサービス提供

イ トップページ、メニューページ等のデザイン及びテンプレートの設計・制作

ウ 現行サイトの分析、カテゴリ分類及びサイト構成設計

エ 新規コンテンツの作成

オ 現行サイトから新サイトへのデータ移行

カ 操作マニュアルの作成

キ 操作研修の実施

- ク 新ホームページの運用・保守
- ケ その他、本業務内容に関わる各種支援

## (6) スケジュール（予定）

### ア 開発期間

契約締結日から令和 7 年（2025 年）11 月下旬まで

### イ テスト期間

令和 7 年（2025 年）11 月下旬から令和 7 年（2025 年）12 月 31 日まで

### ウ 保守期間（本稼働期間）

令和 8 年（2026 年）1 月 1 日から令和 12 年（2030 年）12 月 31 日まで

### エ 構築スケジュール

データ移行・本市職員の研修期間等を含め、本業務全体の行程をまとめた最適なスケジュールを作成し、提示すること。また、公開予定日に合わせたスケジュール管理を行うこと。なお、詳細は本市と受託者が別途協議し決定する。

## (7) 移行対象ページ数

全ページを基本とし、本市が不要と判断したページを除く約 150 ページを想定している。

## 2 システム動作環境要件

### (1) 動作環境に関する要件

- ア ホームページ公開用 WEB サーバ(LINUX)、CMS 管理用クライアント(Windows)は、中央図書館に既設の機器を利用すること。
- イ 既設機器の OS 利用については、本市の指示に従い、制限されたアカウントを用いること。  
作業に際しては、作業実施計画書を事前に提出し、本市職員及び関係事業者との事前協議のうえで安全に実施すること。
- ウ CMS システムの更新、セキュリティパッチの適用については受託者にて実施すること。
- エ 受託後、本市からサーバの構成を変更する旨の申し出があった場合にも柔軟に対応できる構成とすること。

### (2) ソフトウェアに関する要件

CMS の稼働に必要なすべてのソフトウェアのインストールと初期設定を行うこと。

### (3) ネットワークに関する要件

ネットワークとの接続やアドレス規制等に関して、本市と十分に協議の上、設計すること。

#### (4) セキュリティ対策に関する要件

外部からのアタック及びページの書き換え等の不正アクセス、内部からの不正操作に関する十分なセキュリティ対策を行い、そのセキュリティ効果が劣化しないよう保守業務を行うこと。

#### (5) CMS の稼働に関する要件

ホームページと CMS が別に稼働する場合は、CMS 側も 365 日 24 時間の稼働が望ましい。ただし、何らかの原因により CMS が停止する場合には、本市に事前に周知を行うこと。

#### (6) その他の要件

ア アクセス統計解析が可能なこと。アクセス先ページ単位の PV、アクセス数を定期的に報告できること。

イ 外字は使用しないこと。また、想定されるアクセス環境（デバイス、ブラウザ等）で、文字コードに起因する文字化けを起こさないこと。

### 3 構築に関する基本要件

#### (1) 開発要件

##### ア 開発環境

受託者において開発環境を用意すること。

##### イ 稼働テスト

開発されたシステムが業務で使えるかどうかを検証するため、本番環境下で動作テストを実施すること。なお、内容等については本市及び関係事業者と受託者の間で協議し決定する。

ウ 仕様や進捗状況の確認等を行うため、本業務の開発期間中は随時（5 回程度を想定）、本市と受託者の間で打合せを行い、実施後議事録を作成し提出すること。また、必要に応じて開発作業に従事する者を本市との打合せに同席させること。

#### (2) システムの基本要件

##### ア CMS ソフト

（ア）導入する CMS は、パッケージ（市販）化されたもので、複数の自治体で使用されている実績がある等、信頼性があるものとする。

（イ）基本 OS は Microsoft Windows、UNIX 及び Linux 等の一般的に利用されているものとする。

##### イ ウェブコンテンツの形成

（ア）原則として、生成されるコンテンツはすべて静的なものとする。ただし、イベントカレンダーやアンケート等、必要に応じて動的に生成されることが最適なものを導入する場合は、別途、本市と受託者の間で協議し決定する。

(イ) 閲覧者の使用するブラウザは以下のものを想定しており、これらのブラウザにてレイアウトが崩れないように生成されること。また今後登場するブラウザについても可能な限り対応すること。

＜パソコン向け＞

・ Microsoft Edge、Firefox、Google Chrome 及び Safari の最新版

＜スマートフォン向け＞

・ iPhone 及び Android の標準ブラウザ

(ウ) 多言語対応 (UTF-8) していること。

(エ) 複数の音声読み上げソフトに対応できるよう、作成されたコンテンツのソースはアクセシビリティに配慮した順番で記述されること。

(オ) RSS 対応が可能であること。

(カ) 現在使用している URL(<https://www.lib.suita.osaka.jp/>)を継続して使用できること。

(キ) 作成されたコンテンツが国立国会図書館インターネット資料収集保存事業の収集対象となるよう、必要な設定を行うこと。

#### ウ クライアント環境

図書館内イントラネットに接続されたクライアント PC からのみで利用可能とし、専用ソフトウェアのインストールが不要なシステムであること。

なお、クライアント PC は、OS が Windows11 以上、ブラウザが Microsoft Edge 又は Google Chrome で本市職員が作成・更新・管理業務が行えること。

(ア) CMS サーバへの接続

クライアント PC から CMS サーバへの接続は、Microsoft Edge 又は Google Chrome を通して ID 及びパスワード認証にてログインできること。

(イ) ライセンス費用

ユーザー数やページ数の増加による、追加のライセンス費用が発生しないこと。

### (3) システムの機能要件

#### ア 導入実績

導入する CMS は、パッケージ（市販）化されたもので、複数の自治体で使用されている実績があるなど、信頼性があるものとする。

#### イ 機能要件

【別紙 2】CMS 機能要件一覧表に示した機能要件を満たすこと。

#### ウ CMS 設定

CMS のユーザーの情報、所属の基本情報、カテゴリ情報等について、受託者にて CMS へ初期設定（マスタ登録作業）を行うこと。

CMS のシステム動作テストを実施し、その結果を提出すること。

#### (4) アクセシビリティ対応

目標とする達成等級

ア JIS X 8341-3:2016 に配慮し、吹田市ウェブアクセシビリティ方針に準拠していること。

イ アクセシビリティの評価は、総務省より配布されたアクセシビリティ評価ツール（miChecker）を用いたテストを行うこと。

#### (5) サイト設計

閲覧者が目的のコンテンツを即座に探し出せることを重要視しており、現行サイトの課題やリニューアルの基本方針等を勘案し、最適と考えるサイト設計を行うこと。

ア 閲覧者にとっての使いやすさを最優先し、カテゴリを見ただけでコンテンツの内容が想像できるカテゴリ分類となるよう設計を行うこと。

イ 主要な情報又は複数のカテゴリに関係するコンテンツページについては、トップページやメニューページ、記事ページ等から複数の導線でアクセスできるように設計すること。

ウ PC 版及びスマートフォン版のサイト設計を行うこと。なお、スマートフォン版サイトは、閲覧者の利用場面を想定し、操作性、視認性が確保できる設計を行い、原則としてレスポンシブウェブデザインとすること。

エ メニュー等、新サイトで必要なページを新規作成すること。

オ 現行サイトの課題改善に有効な情報の分類案を提案すること。提案に際しては、情報分類で解決できるものを抽出し、これを解決できる具体的なカテゴリ案を提案すること。

#### (6) コンテンツ作成

現行サイトの課題やリニューアルの基本方針等を勘案し、コンテンツを作成すること。

ア 現行サイトに掲載されている情報を原則すべて掲載できること。

イ 各館のイベントや行事のお知らせにリンクしているイベントカレンダーが作成できること。

ウ マップを利用した施設案内ページが作成できること。

エ 英語版・中国語版・ハングル版の利用案内のページが表示できること（翻訳済のテキストデータは図書館がデータ提供を行う）

オ 吹田を PR する地域・行政資料のデジタル資料が登録できること。JPEG、PDF、TXT、HTML 等様々なファイル形式が同時に検索可能であること。

カ 国立国会図書館レファレンス協同データベースの ASP サービスを利用したページを用意すること（レファレンス事例の紹介）。

\*ジャンル別での登録事例紹介（誘導型検索）、新着登録事例の自動取得（自館登録分、事前に設定した任意のキーワード分（吹田、大阪等））

キ サイトマップを用意すること。

## (7) デザイン作成

現行サイトの課題やリニューアルの基本方針等を勘案し、トップページ、メニューページ及び記事ページについて、最適と考えるデザインを作成すること。

また、サイトの全体構成、掲載項目の整理、閲覧者のアクセシビリティ、ユーザビリティを考慮し、標準化・統一化されたデザインとすること。

### ア トップページ

(ア) 図書館のお知らせ情報の登録・配信設定ができること (RSS2.0)

(イ) 市内9館1分室の開館状況が一覧で確認できるものが目立つところに表示されていること。

各館の開館カレンダー情報については、図書館システムのカレンダーAPI からデータ提供する。API の利用方法については本市の指示に従うこと。

(ウ) 蔵書検索用の簡易検索窓や利用者ログインメニューへの入口など、図書館システムへのリンクが提供されていること。リンク先の URL 等については本市の指示に従うこと。

### イ デザインの仕様

上記にて決定したトップページのデザインにあわせた、本文用のテンプレート及びスタイルデザインを作成すること。

(ア) サイト共通部分のデザイン修正が、全体に反映できること。

(イ) 必要なテンプレートは新規作成すること。

(ウ) 各ページには、タイトル情報及びパンくずリストを配置し、閲覧ページのウェブサイト内での位置を把握できること。

(エ) A4 縦型でプリントした際に、文字や画像が切れることがないようにすること。

(オ) 文字の拡大縮小機能。文字色及び背景色のモード変更機能があること。

(カ) 本文中にリンクを作成できること (リンク対象：各種ファイル形式、書誌リンク、URL (サイト内・外部)、QR コード)

(キ) サイト内検索窓を用意すること。

### ウ 特別なページデザインの作成

子供向けや地域資料のページ等、特にデザインの独自性が求められるコンテンツに関しては、主要ページとは異なるデザインテンプレートを作成すること。なお、詳細は本市と受託者の間で打合せを行い決定する。

## (8) 外部 ASP の導入

アクセス解析、及びサイト内検索等の、無償で利用できる ASP サービスを導入し、各テンプレートへの埋め込み作業等を行うこと。

### ア アクセス解析

アクセス管理者がアクセスログを簡単に解析できる機能を有すること。

#### イ サイト内検索

閲覧者が最短で目的の情報にたどり着くことができるよう、サイト内検索機能を実装すること。

(ア) 閲覧者側にてフリーワードでの検索ができること。

(イ) CMS の機能でなく、フリーの検索エンジンの利用も可とするが、広告表示等の不要な情報が出るもの、テンプレート内に表示できないものは不可とする。

## 4 データ移行に関する要件

### (1) 移行対象

移行対象は全ページを基本とし、上記 1(7)「移行対象ページ数」に示すとおり約 150 ページを想定している。PDF や画像等の各種添付ファイルも移行対象に含めること。

なお、現行サイトのうち【別紙 3】の下層ページは移行しない。

### (2) 移行の基本要件

本市職員のシステムへの習熟及び移行費用の削減を考慮し、本市職員への研修のスケジュールリングを含め、コンテンツ移行について計画的に実施すること。

#### ア 移行設計

(ア) スケジュール、市及び受託者の役割分担、完了時の検証方法等、全体的なルールを記したコンテンツ移行計画書を作成すること。

(イ) 移行時の作業手順やアクセシビリティ・ユーザビリティ対応（データの移行・委託品質改善）について、具体的な対応方法を定義した移行要件定義書を提出すること。

#### イ 移行の実施

(ア) コンテンツの移行は、上記の移行要件定義書に基づき移行すること。また、添付されている画像・文書ファイル等も併せて移行すること。移行ページについては、移行要件定義書に基づき、受託者が修正等を行い移行すること。

(イ) 移行後のコンテンツは、本市職員が CMS を用いて修正、公開及び削除が行える状態にすること。

(ウ) 移行期間中に発生した差分についても確実に移行するよう支援すること。

#### ウ 移行対象データの提供

移行対象データは受託者が現ホームページから取得すること。なお、具体的な作業については本市と受託者の間で協議し、行うものとする。

### (3) 移行後の検証

ア 移行作業後のページは上記 3(4)「アクセシビリティ対応」のチェックを満たすとともに、上記 3(2)イ「ウェブコンテンツの形成」で示す各ブラウザで適切に表示されるかを確認すること。

イ 本市の検証において不備が発覚した場合は、受託者にて修正対応を行うこと。

## 5 職員支援に関する要件

### (1) 操作マニュアルの作成

各マニュアルは、CMS パッケージ標準の付属物ではなく、本市における運用の事情や要望を反映して作成し、本市の業務内容と実施手順に沿って一連の操作方法を解説すること。解説は業務に不慣れな本市職員でも理解できるよう、平易な用語、イラスト及び画面のハードコピー等を用いて、わかりやすいものを作成すること。

### (2) 操作研修の実施

本市職員が本業務に理解を深めるとともにシステムへの習熟を深めることができるよう、以下のとおり操作研修を行うこと。

#### ア 操作説明・研修

本市職員がホームページの構造やシステムの操作方法を習熟できるよう、実際に CMS を操作しながら学習する形式の研修を実施すること。窓口業務の担当職員に向けた、ホームページの構成等を知るための説明と、ページ作成者を対象とした実務研修を行うこと。

#### イ 研修用資料

研修用資料を作成し、本市に提供すること。

## 6 サービス提供に関する要件(運用保守要件)

新ホームページの運用・保守作業は、本業務内で行うこと。

### (1) 保守業務内容

ア システムの安定的運用を図るため、ハードウェア及びソフトウェアに関して定期的な保守を行うこと。

イ システム及びシステムの稼働に伴い継続的に必要となるソフトウェア製品のライセンス提供（保守費用も含む）、管理を行うこと。

ウ CMS に関連するすべてのソフトウェアの更新、バージョンアップに関しては、その適用の判断に必要な調査・評価を行い、本市と協議の上、提供及び適用作業を行うこと。

エ ソフトウェアやコンテンツ等に脆弱性が発見された場合は、パッチを適用する等のセキュリティ対策を行うこと。セキュリティパッチの適用等の作業にあたり、本業務におけるホームページ上で提供されるサービス（以下「サービス」という。）が一時的に停止する恐れがある場合には、代替システムを用意する等、サービスの停止を防ぐ対策を行うこと。

オ サービスが停止する場合には、代替手段を用意し、サービスの利用に支障がないように対策を行うこと。

カ 受託者がアクセス解析を行った結果をアクセス解析報告書としてまとめ、定期的に報告すること。

## (2) 障害管理

- ア 障害への対応については障害箇所の特定、障害範囲の調査等の状況把握を行うとともに、復旧に向けて迅速な対応を行うこと。
- イ 障害発生によりサービスが停止した場合、図書館総合システムの関係業者と協力して復旧又は代替手段を用意し、サービスの利用に支障がないよう速やかに対策を行うこと。
- ウ 障害事後対策として、収集した障害情報をもとに原因を分析し、同様の障害が発生しないように是正措置・予防措置を講じること。

## (3) 運用支援

運用保守担当者を定め、操作方法やシステム運用等に関する技術的な問合せに対応すること。また、対応時間は原則月曜日から金曜日の午前9時から午後5時までとし、土曜日、日曜日、祝祭日及び年末年始等は除く。なお、問合せは本市職員のサイト管理者を窓口として行うものとする。問合せ内容は受託者にて管理し、本市からの要望に応じて、過去の問合せ及び回答一覧を提出すること。

## (4) 打合せ及び連絡調整

運用状況の確認等を行うため、本業務の稼働中は4か月に1回程度、本市と受託者の間で打合せを行い、実施後議事録を作成し提出すること。また、必要に応じて運用保守作業に従事する者を本市との打合せに同席させること。

## 7 納品

### 成果物の納品

受託者は、以下の成果物を作成し、提出すること。提出は印刷物で一式提出し、併せて電子データを1部提供すること。電子データ（Word 形式、PowerPoint 形式、PDF 形式等）はUSB メモリ、CD-R 等 Windows パソコンで可読な媒体に保存して提供すること。

- ・ CMS に係る本市サイト用設定情報等一式（CMS 設定・手順書、移行要件定義書等）
- ・ 各種計画書（全行程スケジュール表、作業実施計画書）
- ・ 各種報告書（稼働テスト結果報告書、コンテンツ移行報告書、打合せ議事録等）
- ・ 各種マニュアル（研修資料、操作マニュアル等）
- ・ デザインに使用した画像データ一式（本市が当該データを利用し新たな画像を作成することを承諾すること。）
- ・ その他必要な資料

## 8 その他留意事項

### (1) 機密保護

受託者は、本業務で知りえた情報を業務の遂行目的以外に使用してはならない。また、本業務で知りえた情報を本業務の期間中及び期間終了後を問わず第三者に漏えいしてはならない。本業務の中で個人情報を取り扱う場合は、吹田市情報セキュリティポリシーに則り作業すること。

## (2) 図書館総合システムとの連携

図書館総合システムの関係事業者と協力し、本業務を円滑に遂行すること。

## (3) 再委託

受託者は、業務の全部を第三者に委託しないこと。一部を再委託する場合、事前に再委託範囲及び再委託事業者を本市に書面で提示し、了承を得ること。また受託者は、再委託先の行為について全責任を負うこと。

## (4) 著作権

本業務により作成されたホームページデザイン及び成果物の所有権、著作権及びその他の権利は、本市に帰属するものとする。ただし、ホームページデザイン及び成果物等に受託者又は第三者の著作物が含まれている場合、当該著作物の著作権は、従前からの著作権者に帰属するものとする。また、受託者は本市に対し、著作者人格権を行使しないものとする。

## (5) 消耗品

本業務を遂行するにあたり必要とする消耗品は、受託者が負担するものとする。

## (6) 委託業務実施上の不具合

業務の実施において、受託者の責めに帰すべきシステム設計・構築及び成果物の不備が見つかった場合、受託者は、速やかに対応すること。またそれに係る費用については、本市の瑕疵によるものを除き、受託者の負担とする。

## (7) 協議

本仕様書に記載されていない事項、法令に義務付けられている事項及びその他の事項についても、業務上当然に必要なことについては、受託者の受託業務範囲に含まれるものとする。なお、本仕様書に定める事項に疑義が生じた場合、また本仕様書に定めのない事項で協議の必要がある場合は、本市と受託者の間で協議し、決定する。

## 【別紙Ⅰ】

### 吹田市立図書館 現行ホームページ概要

#### 1 トップページ

##### (1) URL

<https://www.lib.suita.osaka.jp/>

##### (2) アクセス数（令和 5 年度（2023 年度））

1,281,453 件

#### 2 メニューページ

##### (1) メイン

- ・ 利用案内
- ・ 図書館施設案内
- ・ 資料をさがす
- ・ 調べ物相談
- ・ 図書館運営

##### (2) 新着案内

- ・ 重要なお知らせ
- ・ 新着情報
- ・ イベント

##### (3) サービス案内

- ・ 子どものページ
- ・ YA のページ
- ・ 障がい者サービス
- ・ 子育て支援サービス
- ・ 吹田を知る
- ・ 学校支援のページ
- ・ ボランティアのページ
- ・ 図書館ダイアリー
- ・ 図書館メールマガジン
- ・ 電子書籍案内
- ・ 事業者募集
- ・ 申請書ダウンロード
- ・ よくある質問
- ・ 予約資料の配本
- ・ 図書館協議会

### 3 リンク・バナー等

---

#### (1) 図書館システム

- ・ 開館日カレンダー
- ・ MY ライブラリ
- ・ かんたん検索
- ・ 詳細検索
- ・ 新着資料一覧
- ・ ジャンル別検索
- ・ おすすめの資料

#### (2) SNS

- ・ Facebook
- ・ X (旧 Twitter)

## 【別紙2】CMS機能要件一覧表

| 1. 基本要件    |      |                                                                                                                                                                 |
|------------|------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 基本要件       | 1-1  | 閲覧者のパソコン機種、OS、ブラウザ等の利用環境に影響されことなく、ホームページを閲覧できること。対応ブラウザは、Microsoft Edge、Firefox、GoogleChrome、Safariの最新版で、レイアウトが著しく崩れないように表示できること、また今後に登録するブラウザについても可能な限り対応すること。 |
|            | 1-2  | 端末台数やユーザ数、ページ数やテンプレート数の増加により、ライセンス料が変動しないこと。                                                                                                                    |
|            | 1-3  | UTF-8の文字コードに対応すること。                                                                                                                                             |
|            | 1-4  | 1つのページ内で複数の言語の記述が可能であること。                                                                                                                                       |
|            | 1-5  | WWWサーバーに公開されるファイルは静的なHTMLであること。ただし、イベントカレンダー等で動的に表示させることが望ましいページがある場合は、その限りではない。                                                                                |
|            | 1-6  | 閲覧者が画面をA4縦型印刷する際、ブラウザやOSに関わらず内容が損なわれることなく印刷できること。                                                                                                               |
|            | 1-7  | サイト全体として、統一化されたページデザインとすること。                                                                                                                                    |
| カテゴリ分類     | 1-8  | カテゴリ分類は、想定される閲覧者(例:資料検索・利用案内・イベント紹介)にとっての使いやすさを優先し、タイトルを見ただけでカテゴリ内のコンテンツの内容が想像できるようにすること。                                                                       |
|            | 1-9  | カテゴリ分類ごとにカテゴリトップページを作成すること。                                                                                                                                     |
|            | 1-10 | コンテンツ作成時に、掲載するカテゴリ分類を容易に選択できること。なお、1つのコンテンツページについて複数のカテゴリ分類に登録できること。                                                                                            |
|            | 1-11 | 作成済みのコンテンツページを、容易に別のカテゴリ分類に移動させられること。                                                                                                                           |
| 2. ページ作成機能 |      |                                                                                                                                                                 |
| 基本的な仕様     | 2-1  | 作成者がHTML言語を意識することなくワープロ感覚でコンテンツを作成でき、掲載される画面をイメージできる作成画面であること。                                                                                                  |
|            | 2-2  | テンプレートを使用することで、専門知識を持たない一般的な職員でも編集ができ、見出しや段落、表等がタグの知識を持たなくても容易にコンテンツに反映できること。                                                                                   |
|            | 2-3  | フォーム入力型のテンプレートも利用できること。                                                                                                                                         |
|            | 2-4  | ページのレイアウト及びコンテンツはコピーして再利用ができること。                                                                                                                                |
|            | 2-5  | 同じページを更新して再度公開を行う際に、以前公開していたページを前バージョンとして管理できること。バージョンの上限数は特に指定のない限りないものとし、また以前のバージョンを再利用することも可能であること。                                                          |
|            | 2-6  | 作成時に操作を誤った場合、その操作の1つ前の状態に戻すことができること。                                                                                                                            |
|            | 2-7  | 作成途中のページを一時的に保存し、再ログイン後に編集を再開できること。                                                                                                                             |
|            | 2-8  | ページ内に文字列の検索・置換機能があり、容易に文字列の検索・置換ができること。                                                                                                                         |
| 画像         | 2-9  | 簡易な操作でクライアント端末やCMSサーバ上にある画像を掲載・参照し、変更できること。                                                                                                                     |
|            | 2-10 | 画像に説明やリンクをつけられること。                                                                                                                                              |
|            | 2-11 | 登録できる画像のファイル種別(JPEG、GIF、PNG等)を制限できること。                                                                                                                          |
|            | 2-12 | 公開する画像のファイル容量又は画像サイズを制限できること。                                                                                                                                   |
|            | 2-13 | 設定されたサイズや容量を超過する画像を用いた場合、警告が表示され、修正が促されること。                                                                                                                     |
|            | 2-14 | 複数画像のインライン挿入(特定の座標位置ではなく、文字と文字の間に挿入)ができること。また、表示位置、表示サイズの指定が可能であること。                                                                                            |
|            | 2-15 | CMSにて画像のリサイズ・トリミングが可能であること。                                                                                                                                     |
| 添付ファイル     | 2-16 | ページにWord、Excel、PDF等の各種文書ファイルをリンクできること。                                                                                                                          |
|            | 2-17 | リンクした文書ファイルの種類(Word、Excel、PDF等)、サイズの表記が自動で挿入されること。                                                                                                              |
|            | 2-18 | ダウンロードファイルのリンクは、任意の場所に表示できること。                                                                                                                                  |

|                  |      |                                                                                                                 |
|------------------|------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| リンク              | 2-19 | 内部リンク・外部リンクを容易に設定できること。                                                                                         |
|                  | 2-20 | 内部リンクは、一覧等からリンク先を選択するだけで容易に設定できること。                                                                             |
|                  | 2-21 | 外部リンクを設定した場合、管理者が定めた任意のルールに基づき、リンク文字列の後ろに「外部リンク」等の文言を自動挿入できること。                                                 |
|                  | 2-22 | リンク先を表示する際、別ウィンドウで開く設定が可能であること。                                                                                 |
|                  | 2-23 | 公開前(未承認)のページに対してリンク設定ができること。(新規に作成したコンテンツのアドレスが公開前に確認できること。)                                                    |
|                  | 2-24 | 内部リンク・外部リンクのリンク切れをページ単位でチェックでき、ページ内のどの部分にリンク切れがあるか視覚化して確認できること。                                                 |
|                  | 2-25 | コンテンツ公開開始時に、パンくずリスト、指定したカテゴリインデックス、ローカルナビゲーションおよびサイトマップにページタイトルをリンク名としたリンクが自動生成され、公開終了時にそれらが自動削除できること。          |
| アクセシビリティ及びチェック機能 | 2-26 | すべてのページに文字拡大機能を有すること。                                                                                           |
|                  | 2-27 | すべてのページに文字色・背景色変更機能を有すること。                                                                                      |
|                  | 2-28 | 複数の音声読み上げソフトに対応できるよう、作成されたコンテンツのソースはアクセシビリティに配慮した順番で記述されること。                                                    |
|                  | 2-29 | 使用が好ましくない単語が含まれている場合、サイト管理者が指定する単語に自動変換する機能があること(例:「子供」→「子ども」)。変換対象とする単語は、サイト管理者が任意で登録することができ、登録可能な単語数に制限がないこと。 |
|                  | 2-30 | 使用が好ましくない単語の自動変換機能については、記事ページ内容によってはあえて表記する場合も想定できるため、ページ作成者が変換候補とは異なる文字も使用できること。                               |
|                  | 2-31 | 文字色と背景色の組み合わせが、色覚に障害のある人に適切かどうかを確認できること。                                                                        |
| 地図               | 2-32 | 外部API(GoogleMapsなどを)用いて、地図情報を提供できること。また、住所や施設名等を入力することで簡単に掲載する地図の場所を指定できること。                                    |
| 動画               | 2-33 | CMSで作成するページ内に、YouTube等の動画配信サイトに掲載した動画を埋め込み再生できること。                                                              |
|                  | 2-34 | 様々なサイズやファイル形式で動画の登録・配信が簡単に行えること。ただし、サイズの制限設定があること。                                                              |
| コンテンツの公開・削除・再利用  | 2-35 | 作成者が公開開始・終了日時を入力することで、指定した日時にコンテンツの自動更新ができること。                                                                  |
|                  | 2-36 | 公開期限は、年月日のほかに時間単位で時間指定できること。                                                                                    |
|                  | 2-37 | 公開日時を指定しないコンテンツの場合は、即時公開の設定が容易にできること。                                                                           |
|                  | 2-38 | 公開期限を無期限とする設定が容易にできること。                                                                                         |
|                  | 2-39 | すでに公開されているコンテンツを未来の日付で更新する場合は、現在のコンテンツを直接編集し日時設定することで、予定の日時にコンテンツが自動更新されること。                                    |
|                  | 2-40 | 各ページに公開日および最終更新日が自動的に表示されること。ただし、任意の日付に置き換えができること。                                                              |
|                  | 2-41 | ページの公開・更新を行った際、ページが所属するカテゴリ及び各トップページの内容も自動で更新(タイトルの後ろ等に更新日を自動挿入)されること。                                          |
|                  | 2-42 | ページを公開サーバから削除する際、ページが所属するカテゴリ及び各トップページに表示された文章とリンクが自動削除されること。                                                   |
|                  | 2-43 | ページを公開サーバから削除する際、HTMLファイルだけでなく、付属する画像ファイルやPDFファイル等も同時に公開サーバから自動削除できること。                                         |
|                  | 2-44 | その際、対象の画像やPDF等のファイルが、削除対象ではないページからリンクされた状態にある場合、サーバー上に残せること。                                                    |
|                  | 2-45 | 公開が終了したページは再利用できるようにCMSサーバに保存できること。                                                                             |
| プレビュー            | 2-46 | CMSサーバに保存されているページを一覧から選択・複写し、新規ページを作成できること。                                                                     |
|                  | 2-47 | 公開が終了したページの一覧を表示でき、一括又は選択してCMSサーバから削除できること。                                                                     |
|                  | 2-48 | ページの公開イメージを、作成の各段階で容易にプレビューできること。また、プレビュー画面からは、容易な操作で作成画面等に戻れること。                                               |
|                  | 2-49 | 当該ページからリンクをたどる形で、内部リンク先のページも含めて公開時と同じ状態でプレビューできること。                                                             |
|                  | 2-50 | スマートフォン版ページ等、他のメディアへの表示もプレビューできること。                                                                             |
|                  | 2-51 | ページ作成時にURLを任意に設定できること。設定しない場合はシステムが自動で割り振ること。                                                                   |

| 3. 自動更新、自動生成機能 |      |                                                                                      |
|----------------|------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| 新着リンク          | 3-1  | コンテンツ作成時に、指定するページ(トップページ、課室トップページ、カテゴリトップページ等)への新着情報掲載の有無を設定でき、公開されるタイミングで自動掲載されること。 |
|                | 3-2  | 新着情報はお知らせ、イベントなど、複数のタブを分けて表示できること。                                                   |
|                | 3-3  | 新着情報には情報の更新日および館名やカテゴリ名の表示ができること。                                                    |
|                | 3-4  | 新着情報に掲載した情報は、自動的に掲載した日付の降順で表示されること。                                                  |
|                | 3-5  | 新着情報に表示しきれない情報は、新着情報一覧ページに別途表示できること。                                                 |
|                | 3-6  | 新着情報に表示するタイトルを、コンテンツのタイトルとは別に設定できること。                                                |
| ナビゲーション        | 3-7  | すべてのページにトップページへ戻るリンクを設定し、統一した所定の位置に表示すること。                                           |
|                | 3-8  | 各ページに、ページタイトルを自動的に引用したパンくずリストを自動生成できること。                                             |
|                | 3-9  | パンくずリストは、カテゴリ別・所属別等の複数の設定に対応できること。                                                   |
|                | 3-10 | 各ページにグローバルナビゲーション・ローカルナビゲーションを自動生成できること。                                             |
|                | 3-11 | 対象ページが公開された際、ナビゲーションも自動更新され、公開終了時にはそれらを自動的に削除すること。                                   |
| RSS            | 3-12 | サイト全体あるいはカテゴリごとの新着情報を、RSSフォーマットで出力できること。                                             |
| イベントカレンダー      | 3-13 | 各イベント情報の詳細ページにリンクが設定されたイベントカレンダーが自動生成でき、イベント情報を月ごとに集約表示できること。                        |
|                | 3-14 | コンテンツ作成時にイベントカレンダーへの掲載の有無を容易に設定でき、公開されるタイミングで自動掲載されること。                              |
|                | 3-15 | イベントカレンダーは月単位(5週月表)で表示できること                                                          |
|                | 3-16 | イベントカレンダーを分類(館や対象)で絞り込んで表示できること。                                                     |
| 4. 他のメディア向けサイト |      |                                                                                      |
| スマートフォン用サイト    | 4-1  | PCページを作成した際、同時にスマートフォン端末に対応したページも自動作成できること。                                          |
|                | 4-2  | スマートフォンで閲覧する際、最適化されたレイアウトで表示されること。                                                   |
|                | 4-3  | スマートフォンの利用シーンを想定した、専用のトップページを作成すること。                                                 |
| 5. 管理者の管理機能    |      |                                                                                      |
| 基本機能           | 5-1  | 同一ページを同時に別々のユーザが更新できないこと。又は更新しようとする際に警告が表示されること。                                     |
| テンプレート管理       | 5-2  | 管理可能なテンプレート数に上限がないこと。                                                                |
|                | 5-3  | テンプレートの修正があった場合、該当テンプレートを使用している全てのページを自動更新できること。                                     |
| バナー広告          | 5-4  | トップページ・カテゴリトップページ等任意のページの市が指定する位置に、複数のバナー広告を表示できること。                                 |
|                | 5-5  | トップページ・カテゴリトップページ等任意のページの市が指定する位置に、ローテーションバナー広告を表示できること。                             |
|                | 5-6  | バナー広告を管理・掲載・削除でき、特別な知識がなくても容易に操作できること。                                               |
|                | 5-7  | 掲載期間を設定することで、あらかじめ登録しておいたバナー広告を自動的に掲載開始・終了できること。                                     |
|                | 5-8  | バナー広告の表示数は、容易に変更できること。                                                               |
|                | 5-9  | 画像データは、JPEG・GIF(透過GIF・アニメーションGIF)・PNGが使用できること。                                       |
|                | 5-10 | 画像バナーに限らず、テキストバナーも容易に掲載できること。                                                        |
|                | 5-11 | バナー広告の空きスペースには、募集中等の代替画像を表示できること。                                                    |
|                | 5-12 | 設置されたバナー広告がどれだけクリックされているかを集計する機能があり、集計された結果をCSV等に出力できること。                            |

| 6. その他の機能 |      |                                                                                  |
|-----------|------|----------------------------------------------------------------------------------|
| アクセス解析    | 6-1  | ページごとのアクセス件数、検索キーワード等が取得できること。                                                   |
|           | 6-2  | 閲覧者の使用するブラウザ・OS・モニタサイズが集計できること。                                                  |
|           | 6-3  | 閲覧者の接続ポイント(都道府県)が集計できること。                                                        |
|           | 6-4  | 解析結果は、CSVファイル等で保存・出力できること。                                                       |
|           | 6-5  | 館内LANからのアクセスと外部からのアクセスを区別して集計できること。                                              |
| サイト内検索    | 6-6  | キーワードでサイト内のページが検索できるよう、検索の入力フォームを全ページの見やすい位置に配置すること。                             |
|           | 6-7  | 検索結果のページは、サイト内の他のページと同様、同じ体裁のヘッダ、フッタを表示させ、閲覧者には、別のサイトに移動してしまったという印象を与えないようにすること。 |
| 申込        | 6-8  | SSLに対応した申込みフォームを容易に作成できること。                                                      |
|           | 6-9  | 同時に複数の申込みが設定できること。同時に開設できる申込数に上限がないこと。                                           |
|           | 6-10 | 申込フォームは指定した公開日・削除日に、自動公開・自動削除できること。                                              |
|           | 6-11 | 申込フォームの設問数は、上限がないこと。                                                             |
|           | 6-12 | 各設問は、択一方式(ラジオボタン)、複数選択可(チェックボックス)、プルダウンメニュー、自由記入欄のほか、一般的なフォームのスタイルを自由に採用できること。   |
|           | 6-13 | 入力項目には、必須・任意の設定ができること。                                                           |
|           | 6-14 | 作成した申込フォームに、画像の貼り付けや各種ファイル(例:PDF)へのリンク、関連ページへのリンク等の掲載ができること。                     |
|           | 6-15 | 申込み結果を集計する機能があり、途中集計や集計された結果をCSVファイル等で保存・出力できること。                                |
|           | 6-16 | 投稿者が送信前に入力内容を容易に確認できること。                                                         |

【別紙３】移行対象外ページ一覧

| タイトル                    | URL                                                                                                                         |
|-------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 有効期限更新申請                | <a href="https://www-std-pub02.ufinity.jp/suitalib/?page_id=418">https://www-std-pub02.ufinity.jp/suitalib/?page_id=418</a> |
| パスワード初期化依頼フォーム          | <a href="https://www-std-pub02.ufinity.jp/suitalib/?page_id=401">https://www-std-pub02.ufinity.jp/suitalib/?page_id=401</a> |
| 子どもの本っておもしろい！ <よんだーブック> | <a href="https://www-std-pub02.ufinity.jp/suitalib/?page_id=408">https://www-std-pub02.ufinity.jp/suitalib/?page_id=408</a> |
| 郷土の本だな <ピックアップすいた>      | <a href="https://www-std-pub02.ufinity.jp/suitalib/?page_id=410">https://www-std-pub02.ufinity.jp/suitalib/?page_id=410</a> |
| 吹田関係地域資料目次データベース        | <a href="https://www-std-pub02.ufinity.jp/suitalib/?page_id=412">https://www-std-pub02.ufinity.jp/suitalib/?page_id=412</a> |
| 年表吹田                    | <a href="https://www-std-pub02.ufinity.jp/suitalib/?page_id=413">https://www-std-pub02.ufinity.jp/suitalib/?page_id=413</a> |
| 本の紹介<蔵出し一冊>             | <a href="https://www-std-pub02.ufinity.jp/suitalib/?page_id=174">https://www-std-pub02.ufinity.jp/suitalib/?page_id=174</a> |
| データベース一覧                | <a href="https://www-std-pub02.ufinity.jp/suitalib/?page_id=260">https://www-std-pub02.ufinity.jp/suitalib/?page_id=260</a> |
| 吹田市立図書館 横断検索            | <a href="https://www-std-pub02.ufinity.jp/suitalib/?page_id=158">https://www-std-pub02.ufinity.jp/suitalib/?page_id=158</a> |
| 調べ物手伝います                | <a href="https://www-std-pub02.ufinity.jp/suitalib/?page_id=407">https://www-std-pub02.ufinity.jp/suitalib/?page_id=407</a> |
| 声の市報すいた図書館だより           | <a href="https://www-std-pub02.ufinity.jp/suitalib/?page_id=409">https://www-std-pub02.ufinity.jp/suitalib/?page_id=409</a> |
| 団体貸出申込フォーム              | <a href="https://www-std-pub02.ufinity.jp/suitalib/?page_id=404">https://www-std-pub02.ufinity.jp/suitalib/?page_id=404</a> |
| お問い合わせ・ご意見・ご要望受付        | <a href="https://www-std-pub02.ufinity.jp/suitalib/?page_id=417">https://www-std-pub02.ufinity.jp/suitalib/?page_id=417</a> |
| レファレンス(しらべもの)受付         | <a href="https://www-std-pub02.ufinity.jp/suitalib/?page_id=415">https://www-std-pub02.ufinity.jp/suitalib/?page_id=415</a> |